



第 156 回 多可町定例記者会見

令和 5 年 3 月 22 日（水）午後 1 時 30 分～
多可町役場本庁舎 401 会議室

1. 町長あいさつ

2. 案 件

◆記者発表事項

- (1) 企画秘書課 . . . P. 1
かがやき多可賞授与式
- (2) 定住推進課 . . . P. 2
たか暮らし手帖（移住定住支援ガイド）及びパンフレットホルダー作成
- (3) 那珂ふれあい館 . . . P. 3
4 件の文化財を多可町指定文化財に指定
- (4) 商工観光課 . . . P. 10
多可町のお土産が新登場!おむすびサブレ「たか結び」発売
オープンガーデン開催
- (5) ベルディーホール . . . P. 13
弓張美季&アンソニー・ヒューイト 2023 Piano Duo Recital
ベルディーホールシネマ「百花」
- ◆その他の機関
- (6) 杉原紙振興ボランティア . . . P. 14
杉原紙研究所 50 周年 ～記念誌の発刊、記念切手の発売～
- (7) 多可町地域商社 RAKU . . . P. 18
空き家リノベーション事業完成

3. 質 疑

4. 次回のお知らせ

◆第 157 回多可町定例記者会見

と き 令和 5 年 4 月 20 日（木） 午後 1 時 30 分～
ところ 多可町役場 大会議室
問合せ 企画秘書課 Tel 32-2381

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課・係	担 当 者 名	連 絡 先
令和5年3月22日	企画秘書課	谷尾 諭	0795-32-2381

事 業（行 事）名

かがやき多可賞授与式

日 時（開催期間）

3月27日（月）午後7時～

場 所

多可町役場 大会議室

趣旨または目的

多可町民に明るい希望と活力を与えたと認められる個人や団体に対しその功績を讃え「かがやき多可賞」を贈る。

内 容

多可町では、スポーツ、文化、芸術、福祉その他の分野において、優れた成績や善行等によって、町民に明るい希望と活力を与えたと認められる個人または団体に対して「かがやき多可賞」を贈り、その功績を讃えることとしている。

今回は、以下の2名の方に、かがやき多可賞を贈る。

（1）吉田 優音（よしだ ゆうね）さん 西脇工業高等学校 3年生

女子第34回全国高等学校駅伝競走大会（第20位）

（令和4年12月25日開催）

（2）門脇 真依（かどわき まい）さん 東洋大学3年生

第31回全日本大学女子サッカー選手権大会（優勝）

（令和4年12月24日～令和5年1月6日 開催）

参考資料など

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和5年3月22日	定住推進課	野田 友美	0795-32-4776

事業（行事）名

「たか暮らし手帖（移住定住支援ガイド）及びパンフレットホルダー」作成

日時（開催期間）

3月25日から配布

場所

移住定住相談会、町内主要施設、各課配布

趣旨または目的

人口減少が大きな問題となっている中、コロナウィルス感染症の流行により、都市部から地方への人の流れが加速し、人々の地方移住への意識も高まっている。

当町においては移住相談件数が増加しており、その際、移住希望者に対して移住支援ガイド等を活用しながら、移住者の増加を促進する。

また、多可町は「人のやさしさ」と「身近な自然」が魅力。両者が揃うことによって「子育てがしやすい」ことをPRする。

内容

自然をイメージした背景と「人」を中心とした写真で構成
多可町までのアクセスマップを掲載し、より多可町を身近に

○たか暮らし手帖（移住支援ガイド）

移住のきっかけとなるよう、親しみやすい優しいデザインに。

「人」「自然」の魅力を伝えながら、中心的内容に7つの移住ステップ紹介を盛り込んでいる。子育てしやすい自然豊かな多可町を知ってもらうため、子育て世代の声や先輩移住者のインタビューを掲載している。

○パンフレットホルダー

多可町の自然や観光スポットを掲載し、多可町の「良いところ」「特徴」を紹介している。併せて、ガイドやチラシなどをセットして、移住相談会等で配布、町のPRに努める。

参考資料など

たか暮らし手帖（移住定住支援ガイド）

パンフレットホルダー

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	那珂ふれあい館	安平 勝利	0795-32-0685

事 業 (行 事) 名

4 件の文化財を多可町指定文化財に指定

日 時 (開催期間)

指定日 2 月 22 日

場 所

趣旨または目的

多可町に存在する文化財のうち重要なものについて、その保存継承及び活用のために必要な措置を講じ、多可町の文化的水準の向上に資するとともに、わが国文化の進歩に貢献することを目的とする。

内 容

多可町教育委員会では、多可町所蔵の寿岳文章和紙コレクションと、加美区的場金蔵寺所蔵の姉崎永喜作仏画「薬師三尊十二神将像図」^{やくしさんぞんじゅうにしんしょうぞうず}「五大明王像図」^{ごだいみょうおうぞうず}「仏涅槃図」^{ぶつねはんず}の 3 点を多可町指定文化財に指定した。(各詳細別紙)

今回の 4 件の指定により、多可町指定文化財は 41 件となった。

参考資料など

寿岳文章和紙コレクション

寿岳文章氏（明治 33 年：1900～平成 4 年：1992）は、兵庫県出身。英文学者であるとともに、書誌学や和紙研究の第一人者でもある。

近代初頭以降、洋紙の普及、機械化をはじめとする産業構造や社会情勢の変化の中で、日本の和紙は変質、衰退傾向にあり、全国の紙漉産地も多くが廃業の危機に瀕する状態にあった。そこで、寿岳文章氏は、日本文化形成に大きな役割を担ってきた和紙やその技術の衰退を嘆き、昭和 12～14 年にかけて、妻しづ氏とともに全国の和紙産地の紙漉き村を訪れ、実地調査を行った。現地では、村の様子から紙漉き工程の取材、聞き取り、文献や伝承の蒐集など詳細な記録がとられ、のちに『紙漉村旅日記』私家版として上梓されている。また、昭和 15 年には、師でもあった新村出氏とともに杉原谷村（現多可町加美区北部）を訪れ『杉原谷紀行』を記し、杉原紙が杉原谷発祥であることを裏付ける根拠の一つともなっている。

寿岳文章和紙コレクションは、上記の紙漉き村調査時に蒐集されたものが大半を占める昭和初期の全国の和紙コレクションで、40 府県、130 箇所以上の紙漉き場で漉かれた和紙見本からなる、総点数 2000 点を越える資料群である。これらは、旧加美町と寿岳文章氏、長女寿岳章子氏とのつながりのもと、平成 15 年に和紙関係資料や貴重な蔵書本などとともに、旧加美町へ寄贈いただいたものである。

当和紙コレクションは、現在は紙漉が途絶えている地区のものが大半で、二度と手に入れることができない貴重なものである。また、近世までの伝統的な抄紙系統を継承するものと、近代の技術変革の実態を示すものの両方が含まれており、日本の紙文化の変換点の様相を具体的に表す重要な文化史的資料群であるといえる。

姉崎永喜作の仏画について

姉崎永喜(?-1729)は、江戸時代の姉崎派ともいわれる仏画の絵師の一派の初祖。

延宝年間に当時より「絵所」辞令を受け、その後、真宗仏光寺派の本山である仏光寺の絵所を務める。姉崎派は永喜を初代とし、近代初頭の7代目姉崎正盛まで仏光寺の絵所を務める。

世仏画については、近年になって本格的に行われはじめているが、調査・研究史は浅い。また、一般的に仏画に作者の銘を記すものは少ないことから、詳細がわかる資料例は比較的少ないのが現状である。

今回の候補物件3点は、保存状態も良好で、作者、製作年代が明確であり、近世絵画史研究における一つの定点を示す貴重な作例である。

・薬師三尊十二神将像図

中央に薬師如来、左右に日興、月光菩薩を配し、さらに両側に十二支に相当する十二神将が描かれる。鮮やかな色彩をはなつ良質の絵具と諧謔味のある諸尊が描かれ、江戸時代の仏画として出色の出来栄え。

画面左下に、「東寺御繪所」の墨書と「姉崎永喜」の朱文印があり、裏面には「京四條通室町東へ入町」「御繪所永喜」の僕印が押される。

付属の箱には、箱身底面に「薬師如来日光月光十二神絹地細金彩色一幅 播州多河郡金蔵山金蔵寺什物」、箱蓋裏面に「宝永二乙酉年十月吉日 法印有尊」と墨書されており、この年に製作されたものと考えられる。

・五大明王像図

両目を大きく見開いた不動明王を中心に、四方に金剛夜叉、隆三世、大威徳、軍荼利の各明王が描かれる。姉崎永喜の特徴である鮮やかな色彩で、濃紺の肉身と鮮やかな火炎の朱色の対比が特徴的である。

画面左下に「東寺御繪所」の墨書と「姉崎永喜」の朱文印が押される。

付属の箱には、蓋表に「五大尊 播州多可郡 金蔵山光明院」、箱身底面に「五大尊 播州金蔵山金蔵寺什物法印有尊求之 宝永二年十月吉日」と墨書されており、「薬師三尊十二神将像図」と同時期に製作されたものと考えられる。

・仏涅槃図

釈迦の入滅を描いた図。画面中央に頭を北にして臨終の床に就く釈迦。周囲に悲しみに暮れる菩薩や弟子、鳥獣が描かれ、四方の沙羅双樹の半分は枯れか、上方には釈迦の母である摩耶夫人が急ぎ駆けつける様子が描かれる。

画面左下に「東寺御繪所姉崎永喜」の墨書と「義光」の白方印が押される。

当作は、他の姉崎作品と同様、鮮やかな色彩と諧謔味のある表情や動きで描かれ、特に会衆の目の周りを赤く塗る表現は特徴的である。

また、一番の特徴はその大きさにあり、本紙の寸法がタテ 271.1 cm×ヨコ 210.4 cmと2mを超え、周囲には宝相華が手書きで描かれており、描表装を含めた寸法は、タテ 349.1 cm×ヨコ 210.4 cmをはかる巨大な作品で、多可町では最大となる。したがって、その大きさゆえに3枚の絹反物をつなぎ合わせた3幅1鋪の構成となっている。

【姉崎永喜 作例】

- ・ 大宝寺 仏涅槃図 （長野県駒ヶ根市赤穂 2868） 駒ヶ根市指定文化財
年 代：享保3年（1718）
寸 法：タテ 135.6 cm×ヨコ 130.6 cm
- ・ 吉祥寺 金剛界曼荼羅・胎藏界曼荼羅 （愛媛県新居浜市大島）
年 代：享保4年（1719）

藥師三尊十二神將像図

時代：宝永2年（1705）
 作者：姉崎永喜
 材質：絹本著色 員数：1幅
 寸法：タテ127.8cm×ヨコ72.0cm
 所蔵：金蔵寺



五大明王像図

時代：宝永2年（1705）
作者：姉崎永喜
材質：絹本着色 員数：1幅
寸法：タテ127.2cm×ヨコ72.5cm
所蔵：金蔵寺



仏涅槃図

時代：宝永2年（1705）

作者：姉崎永喜

材質：絹本著色 員数：1幅

寸法：タテ271.1cm×ヨコ：210.4cm （349.1cm×240.0cm：画表装含む）

所蔵：金蔵寺



多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和5年3月22日	商工観光課 多可町地域商社RAKU	小林 弥生 小迫 悠香	0795-32-4779

事業（行事）名

大学連携事業 多可町定番お土産「たか結び」について

日時（開催期間）

4月末販売予定

場所

町内各観光施設へ依頼（道の駅山田錦発祥のまち・多可 ほか）

趣旨または目的

全国の大学ゼミ対抗のインターカレッジであるSカレ事業で令和3年度にプラン・テーマ1位[商品化権利獲得チーム]となった京都橘大学瀬良ゼミ「多可食楽譜」提案・協力のもと、多可町といえばこれ！という万人受けするような定番お土産を開発し、多可町の認知度やイメージの向上を図る。

内容

1. 商品開発について

京都橘大学瀬良ゼミ「多可食楽譜」と町内の有機栽培の山田錦米粉を使用したお菓子を製造している業者、そして特産品事業に取り組む多可町地域商社RAKUが連携し、多可町がすすめている「敬老の日」にみんなでおむすびを食べる取り組みをお土産商品開発にも取り入れ、町内の有機栽培の山田錦の米粉を使用した特別なおむすび型サブレを考案。

2. 定番お土産「たか結び」について

・単純なお土産品ではなく、みんなに美味しくやさしく、アレルギーのある方や身体を気遣う方にも食べて頂けるように、安心安全にこだわったお土産が完成した。

①有機栽培の山田錦の米粉を使用し、乳・卵・小麦・白砂糖不使用

②7大アレルギー・グルテンフリーを実践

・商品名「たか結び」は、「結び＝おむすび」から名付けた

・フレーバーは3種類（焼きおにぎり、青のり、野菜）で、1箱あたり2枚×12袋入

3. 定番お土産「たか結び」販売について

・4月末販売予定

・販売価格1,944円（参考：1袋あたり2枚入162円）

参考資料など

サンプル商品

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課・係	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	商工観光課 (多可町観光交流協会事務局)	北藤 静	0795-32-4779

事 業 (行 事) 名

多可オープンガーデン 2023 開催

日 時 (開催期間)

多可オープンガーデン開催期間：主として 4 月～6 月頃まで (ラベンダーパーク多可は 7 月まで、多可町余暇村公園は 11 月まで)

※各庭 (各施設) で公開日を設定している

場 所

多可町・西脇市内の 20 か所の庭を公開

※『多可オープンガーデン』ののぼりが目印

趣旨または目的

多可町観光交流協会が主催するもので、花を通して、人と人との交流を深め、潤いのある暮らしと美しいまちづくりにつながっていくことを目指す。

また、ガーデンを観光の地域資源とし、町外からの観光交流人口を増やすことを目的として開催。

内 容

オープンガーデンの庭主さんが丹精込めて育てられた花や木を植えられた庭を、一定の期間オープンにし、皆さんに見ていただくもので、その庭の種類はいろいろあり、ハーブ、バラ、山野草、木、盆栽など四季折々の花を植えられいる。

各庭の公開日や見頃は、A3 版ガイドマップで確認できる。また、多可町観光交流協会ホームページで各庭情報を掲載する。

多可町観光交流協会 HP <https://kanko.takacho.net/>

参考資料など

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課・係	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	生涯学習課 文化会館	安平 智香子	0795-32-1300

事 業（行 事）名 ‘23 ベルディーホール住民企画自主公演事業 弓張美季&アンソニー・ヒューイト 2023 Piano Duo Recital
日 時（開催期間） 公演：4 月 16 日（日）開演 午後 2 時～ （開場は 30 分前）
場 所 多可町文化会館 ベルディーホール
趣旨または目的 弓張美季ピアノリサイタル実行委員会主催。ヨーロッパを中心に活躍する弓張美季。今回はメニューイン音楽院時代の学友でもあるアンソニー・ヒューイト氏とのデュオリサイタルを企画。 本物の音楽にふれる素敵なピアノリサイタルの鑑賞機会を提供する。
内 容 2005 年以来、多可町内の小・中・高校へ出掛けていくアウトリーチ（お出かけ授業）をはじめ、多可町のあらゆる世代に向けて演奏活動を展開していただいている弓張美季さん。 今回はデュオリサイタルということでスタインウェイの名器も 2 台が揃う。 チケット料金：一般 2,000 円、高校生以下 1,000 円 （全席自由／当日 500 円増）
参考資料など チラシ

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課・係	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	生涯学習課 文化会館	安平 智香子	0795-32-1300

事 業（行 事）名 ‘23 ベルディーホール自主公演事業 ベルディーシネマ「百花」^{ひゃっか}
日 時（開催期間） 公演：4 月 2 3 日（日）上映 午前 10 時～ / 午後 2 時～ （開場は 30 分前）
場 所 多可町文化会館 ベルディーホール
趣旨または目的 「ベルディーホールで映画がみたい」という住民の声に応えるために、 映画「百花」を上映する。
内 容 プロデューサー、脚本家、小説家などの肩書を持つ川村元気が、自身の小説を自らメガホンを取って映画化。認知症により記憶を失っていく母親と、母を支える中で封印していた過去の記憶と向き合う息子の姿を描く。 出演：菅田将暉、原田美枝子、長澤まさみ 他 チケット料金 800 円 全館自由席 当日 200 円増
参考資料など チラシ

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課・係	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	杉原紙振興ボランティア 商工観光課	代表 山仲進 補佐 戸田善規 笹倉敏弘	080-1434-4430 090-3496-5522 0795-32-4779

事 業（行 事）名

杉原紙研究所 50 周年 記念誌の発刊
日本一の手漉き和紙 杉原紙 ～その継承と発展～

日 時（開催期間）

一部先行販売開始（和紙販売所ででんでん） 3 月 18 日（土）
発売開始（一斉）4 月 1 日（土）

場 所（購入できる場所）

和紙販売所「でんでん」、町内の道の駅（道の駅杉原紙の里・多可、道の駅山田錦発祥のまち・多可）、多可町内の書店、多可町役場本庁、地域局（加美、八千代）などネット販売も視野に！

趣旨または目的

杉原紙の復興・・・「これは古くて新しい産業である」（竹本修二町長の式辞より）
◎杉原紙研究所の 50 周年（昨年度：復興 50 周年）を記念して、杉原紙振興ボランティア（代表：山仲進 会員 16 名）製作し、発刊する出版物
【杉原紙のわかりやすい解説本】

1. 50 年を経て見事に復活した杉原紙を広く周知し、伝統和紙への理解と支援を促す。
2. 手漉き和紙の魅力を広く伝え、失われつつある和紙文化への関心を喚起させたい。
3. 復興当時の思いとその継承過程を振り返り（住民あげて）新たな発展を期したい。

内 容

平安時代には藤原摂関家で愛用され、鎌倉時代には幕府公用紙として使われた「杉原紙」は、室町時代に入ると公家・武家・寺社で広く使われ、播磨の地域特産品として名を馳せました。

★中学校教科書「歴史分野」（2 社）に、「杉原の紙」は「瀬戸の陶器」とならび、室町時代の地域特産品の代表・・・との記載があります。

（他の教科書では奈良時代の記事に「播磨紙」の名前で載っています。）

1. 中世に「日本一の紙」と称された『播磨杉原』と同じ「米粉入りの見本紙」を表紙の裏に貼っており、手漉き和紙のすばらしさを手で触れて実感いただけます。
2. 内容は 3 部構成です。（冊子実物を参照）

第 1 部では、郷土史家の藤田貞雄氏が昭和 57 年（1982）に郷土学習用の資料として編まれた「杉原紙のあゆみ」を掲載しており、杉原紙についての理解が深まります。

第 2 部では、杉原紙の復興から半世紀のあゆみを振り返ります。

①新村出・壽岳文章両博士の来村 1940 年（昭和 15）にも触れる「杉原紙復元前史」では、町立「杉原紙研究所」の設立に至る流れが理解いただけます。

②「杉原紙研究所の 50 年」では、年代ごとの主な取り組み内容に写真を付けて記し、復元過程を分かりやすく説明しています。

③「杉原紙を支える町民の応援・支援」では、杉原谷小学校、奥荒田楮栽培互助会、加美ふるさと塾の取り組みや、この間に開催された各種展覧会・催物を紹介しています。

◇第 3 章 杉原谷小学校 地域学習の取り組みは（当時から）高い評価を受けたものです。

※私たち杉原紙振興ボランティアが関わっている壽岳文庫や民芸品づくりについても触れています。

第 3 部では、1972 年（昭和 47）4 月 18 日の研究所開所式における式辞と祝辞等を掲載。

竹本修二町長の式辞、一谷定之丞副知事と壽岳文章博士の祝辞、関連写真を載せています。

※健康状態がご不安な中にもかかわらずご出席いただいた壽岳文章博士の心のこもった祝辞はまことに素晴らしく、きっと当日ご参加の皆さんの心を打ったことでしょう。★必見の価値あります！

参考資料など

印刷部数 2,000 部 ※うち有料配布 1,200 部（含予備）頒布価格 500 円（税込み）
残部 800 部は町当局にて有効活用《視察やふるさと納税返礼品用 500 部、学校教育関係 150 部、和紙関係団体・図書館など 150 部》

（印刷製本代約 45 万円）

＝収益よりも「杉原紙」を知ってもらう事を優先し、ほぼ原価（ワンコイン）での販売＝
杉原紙振興ボランティア・・・「ふるさと文化賞」受賞（2022）、
「ともしびの賞」受賞（2023）

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和5年3月22日	杉原紙振興ボランティア 商工観光課	代表 山仲 進 補佐 戸田 善規 笹倉 敏弘	080-1434-4430 090-3496-5522 0795-32-4779

事業（行事）名

杉原紙研究所 50 周年 記念切手 ～日本郵便提携事業～

50 周年記念切手 心を込めた手漉き和紙 杉原紙 限定 300 セット

日時（開催期間）

*切手の仕上がり 3月29日（水）要：見本紙と説明文の差し込み作業

*記念切手セットの出来上がり 3月31日（金）

発売開始 4月1日（土）

場所（購入できる場所）

☆多可町の「杉原谷地域」だけに販売場所を限定

①和紙販売所「でんでん」 ②道の駅杉原紙の里・多可 ③杉原谷郵便局

*ただし多可町役場（本庁）でも購入可能

趣旨または目的

＝記念切手の企画・販売の主体は杉原紙振興ボランティア＝

開所から 50 周年を迎えた杉原紙研究所で、日本郵便（杉原谷郵便局）と連携し、記念切手を発売。

日本郵便が全国各地で限定販売している「オリジナルフレーム切手」の一つで、84 円切手 5 枚の定型版に、杉原紙（米粉入り）見本と解説書を特別に備えた『杉原紙ならではの特別バージョン』。

◎50 周年を記念切手のカタチで祝し、伝統の手漉き和紙「杉原紙」の魅力の伝承を願うもの

内容

1. オリジナル切手の体裁

杉原紙の紙漉き作業の写真をメインにすえ、5 枚の切手それぞれに杉原独自の風景を採り入れ、「杉原紙、世界へ」との期待を込めた。

★切手に使用した写真は・・・①杉原紙発祥地 碑 ②紙を白くする真冬の川さわし

③昔ながらの天日干し ④ぬくもりのある和紙の民芸品 ⑤体験工房「杉原紙の里」

2. オリジナル切手セットの販売方針

商品名 「心を込めた手漉き和紙 杉原紙」 記念切手セット

販売数 300 セットの限定販売

販売価格 1 セット 1,000 円 (税込み)

□多可町加美区の「杉原谷」を訪問された方がのみが購入できる仕組みで、販売場所を限定。

～当地に足を運んでいただき、杉原紙の素晴らしさを知ってもらい、購入いただきたい～

①和紙販売所「でんでん」 ②道の駅杉原紙の里・多可 ③杉原谷郵便局

＊ただし多可町役場（本庁）でも購入可能。

▲見本紙などを付加する独自型式のため、杉原谷以外の郵便局には販売依頼をしない

関係者コメント

手漉き和紙 杉原紙は紙文化のプラチナ遺産

①何よりも 1300 年の歴史と伝統を誇る手漉き和紙「杉原紙」の価値を強調したい

②これからは「古くて新しいものが輝く時代」との認識を共有したい

「江戸時代初期に日本一の紙と称された「播磨杉原」。その当時と同じ、米粉入りの「最上級の杉原紙」見本紙が付いた珍しい趣向の記念切手で、限定 300 セットの販売です。間違いなく貴重な和紙ですので後日にプレミアが付くことが考えられます。希望者が多数あるかも。早めのご購入をオススメします。

参考資料など

記念切手の実物が届くのが 3 月 29 日となりますので、仕上げ見本の写し（最終版）を資料として添付いたします。

杉原紙振興ボランティア・・・「ふるさと文化賞」受賞（2022）、
「ともしびの賞」受賞（2023）

多可町政 記者発表資料

提 出 日	担 当 課	担 当 者 名	連 絡 先
令和 5 年 3 月 22 日	多可町地域商社 RAKU	山崎 栞 (地域おこし協力隊)	0795-37-0699

事 業 (行 事) 名

Kaji 家 カフェ&宿泊施設 4 月オープン予定
兵庫県空き家活用支援事業（地域交流拠点型） 空き家リノベーション施設

日 時 (開催期間)

4 月上旬オープン予定
(宿泊エリアは 5 月オープン予定)

場 所

多可町中区鍛冶屋 4 7 7 番地

趣旨または目的

Kaji 家(Kitchen And Journey Inn)と題した宿泊施設兼カフェ、チャレンジショップの機能を併せ持った施設が 4 月にオープン。

内 容

移住促進に向けた短期的お試し住宅としての空間提供と、長期的な移住を視野に入れた関係人口の創出を目標として、兵庫県の空き家活用支援事業を活用した空き家のリノベーション施設がついにオープン。

施設内ではお店をやってみたい人に向けたチャレンジショップの他に一棟貸しの宿泊施設を併設。また、チャレンジショップの出店のない日にはカフェとして営業し、地域内外の交流拠点としての空間づくりを実施。

また本事業に関しては産官学連携事業として実施し、関西学院大学建築学部・総合政策学部の学生ら約 40 名が参加し、施設の改修設計から実際の工事までの施設改修に参画。

参考資料など

Instagram アカウント

【<https://www.instagram.com/takachokajiya/>】

連携事業告知チラシ